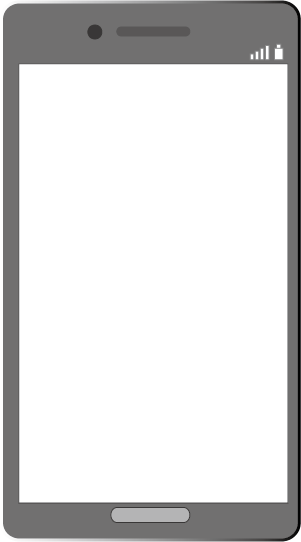
　　年　　組　　番　氏名

**ネットでの買い物は大丈夫なの？**



２週間後，親友Ｂ子の誕生日です。

Ａ子は，ネット上でＢ子が欲しがっていた長財布を見つけたので，注文しプレゼントすることにしました。

**超人気　長財布**

**ドラマで女優○○さんも使用**

**有名ブランド**

**かわいい**

**本革**



SALE品だけど，Ｂ子ならきっと喜んでくれるはず



**SALE70 % OFF**

***\9,720***

~~\32,400~~

【支払方法】　銀行振込

【販売店名】　▲▲ショップ

【住　　所】　東京都

Ａ子

後日，Ａ子はトラブルに･･･

設問１　Ａ子が巻き込まれたトラブルとは何でしょうか。考えられるだけ書いてみましょう。

設問２　大切なことや気をつけなければいけないことを書きましょう。

**【キーワード】**　商品未達　偽物　販売業者　取引内容　クーリング・オフ　暗号システム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指導用資料 | 【知恵を磨く】安全への知恵  ネットでの買い物は大丈夫なの？ | 中 |

■指導のねらい

　ネットショッピングで危険性を知り，契約内容を正確に把握することの大切さを理解する。

■指導の展開例　※ワークシート教材だけでの指導も可能であるが，スライド教材と併用すると効果的である。

|  |  |
| --- | --- |
| Step | 指　導　内　容　　　　　　　　　　　　　〔スライド教材〕 |
| １ | **＜事例場面の把握＞**  ◆図を用いて，事例場面を説明する。  ◆生徒に，スマホの画面を注意してみるように指示する。  【発問】考えられるトラブルとは何でしょう。また，注意すべき点はなんでしょう。  スライド【２】 |
| ２ | **＜自分の考えを持たせる＞**  ◆Ａ子がどのようなトラブルに巻き込まれたか考えさせ，設問１に記入させる。 |
| ３ | **＜考えを交流させる＞**　安易に注文するとトラブルに巻き込まれることがあることに気付かせる。  ◆考えられるトラブルと，注文時に注意すべき点について話し合わせ，考えを交流させる。  　※ペアワーク，グループワークなど  事例説明  ・Ａ子は，親友Ｂ子の誕生日プレゼントをインターネットショッピングで買うことにした。  ・安心できるサイトから買ったつもりが，トラブルに巻き込まれてしまい，注文した商品を  　手にすることができなかった。または，手にしたが模倣品か欠陥商品であった。 |
| ４ | **＜本時の説明＞**店舗に行く手間や時間を掛けずに商品を購入することができるインターネットショッピングであるが，安易に注文すると様々なトラブルに巻き込まれることがあることを理解する。    ◯メリット  ・インターネットショッピングは，店舗に行く手間や時間をかけずに商品を購入することができる。  ◯デメリット  ・様々なトラブルの例  商品が届かない，偽物が届いた，サイズや色が違う，返品できない，カード情報が盗まれるなど。  　・クーリング・オフができない。※補足説明を参照  スライド【３】 |
| ５ | **＜本時のまとめ＞**　ネット契約に関する注意点や知識を理解させる。  ●ポイント  ・便利な方法であるが，サイトによっては，必ずしも注文した商品が届くとは限らない。  ・注文時に販売業者や契約内容について確認する。※補足説明を参照  スライド【４】    ●気をつけること  ・販売業者に関する情報の確認（販売業者名，住所，電話番号，責任者，連絡先）  ・販売価格に関する確認（売価格，商品本体以外にかかる手数料，送料，税）  ・支払い方法に関する確認（代金の支払時期および方法，商品・サービス等の  引渡し時期）  ・返品に関する確認（返品の可否、返送料の負担方法や返品可能な期間）  ・画面をキャプチャー（スクリーンショット）し，契約内容を保管する。  ・クレジットカード購入の場合，暗号システムが使われているか確認。  ※補足説明を参照  スライド【５】    スライド【６】  　※支払後でも悩まず，消費生活センター，警察等に相談しましょう。 |
| ６ | **＜振り返りをさせる＞**  ◆この事例から，学んだこと，気をつけなければいけないことを設問２に記入させる。 |

【補足説明】

■　通信販売

　　特定商取引法の対象となる取引であり，インターネット等の取引についてはこの販売方法に該当する。

　　この法律では，インターネット事業者は広告に表示する事項を次のように定められている。

　　＜特定商取引法＞

第11条：広告の表示義務

　　　１．販売価格

　　　２．送料

　　　３．販売価格・送料等以外に負担すべき内容及び金銭

　　　４．代金の支払時期

　　　５．代金の支払方法

　　　６．商品の引渡時期

　　　７．返品特約に関する事項

　　　８．事業者の氏名又は名称

　　　９．事業者の住所

　　　10．事業者の電話番号

　　　11．代表者氏名又は責任者氏名

　　　12．ソフトウェアに係る取引の場合のソフトウェアの動作環境

　　　※サイト画面にこのような事項が表示されているか確認することが必要である。

ただし，全て表示されていない場合もある。

　　第14条：顧客の意に反して契約の申し込みをさせようとする行為の禁止

　　　１．あるボタンをクリックすれば，それが有料の申し込みとなることを，消費者が容易に認識できるように表示していないこと

　　　２．申し込みをする際，消費者が申し込み内容を容易に確認し，かつ，訂正できるように措置していないこと

**これらのことを「顧客の意に反して売買契約等の申し込みをさせようとする行為」として禁止している。**

■　通信販売に関するクーリング・オフについて

　　◯クーリング・オフとは

　　　契約を解除できる制度です。

　　　クーリング・オフすると

　　　１．支払った金額の全額返金できる。

　　　２．「キャンセル料」「違約金」を支払わなくてもよい。

　　　３．商品・権利の返品費用は，事業者が負担する。

　　　４．通常使用してしまった商品でも契約がなかったことにできる。　など

**【重要】インターネットショッピングを含む通信販売は，クーリング・オフできない。**

■　暗号システムについて

　　インターネットショッピングなど，電子商取引（Ｅコマース）が日常的に行われるようになりました。便利に

なった反面，第三者が会員ＩＤ・パスワード・氏名・住所・メールアドレス等の個人情報やクレジットカード情

報など，契約時に入力する情報を盗み，本人になりすまして契約したり，取引内容等を書き換えられたりされる

などの被害が発生している。

　このようなリスクを回避するために用いられているのが，ＳＳＬ暗号化通信である。

　＜ＳＳＬ暗号化通信が確立されているかどうかの確認方法＞

　　カード決済等をする際には，次の点を確認することが必要

　　①　Ｗｅｂブラウザ画面のＵＲＬが「 http：//・・・・・」ではなく，「 http**s**：//・・・・・」で表示さ

れているか確認する。

　　　②　Ｗｅｂブラウザ画面のＵＲＬが表示されているバーに「カギ」のマークが表示されているか確認する。

